

久谷地区タウンミーティング(要約)

平成26年7月12日(土曜日)

【市長】 皆様こんにちは。今日は土曜日の午後でございます。皆さん何かご予約もあったんじゃないかなと思いますけども、このように大勢の方がお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。このタウンミーティングの開催にあたりましては久谷地区総代会の会長をはじめ荏原・坂本両館長、また役員の皆様のご協力をいただきまして本当にありがとうございます。さて、このタウンミーティングですけれども、私が市長に就任をさせていただいてから始めさせていただきました。松山市は旧松山市、旧北条市、旧中島町と合わせて全部で41地区に分かれます。久谷地区は1つであって、41地区あるわけですけども、市役所で待っているほうが楽です。でも、果たしてそれでいいのだろうか。我々から各地区に出向かせていただいて、やはり各地区にはそれぞれお困りの点もあるだろうし、課題もあるだろうし、逆に魅力もあるだろうし、そういったものを教えていただいて、そしてできることからできるだけ早く市政に反映していくタウンミーティングを重ねております。そして1巡すべて終わりました、今2巡目に入っているところでございます。1巡するのに2年ちょっとかかりますので、久谷のタウンミーティングは2年ぶりになります。このタウンミーティングは例えばパフォーマンスとかガス抜きのためにやっていたんだったら1巡で終わっていたと思います。この松山市版のタウンミーティングはガス抜きとかパフォーマンスのためにやっているではありません。聞きっぱなし、やりっぱなしにすると楽です。でもそれはいたしません。この場でいただいたご意見に対しましてはできるだけこの場で返事を返させていただきますし、また国と絡む案件であったり、県と関係する案件であったり、財政的な問題があるものをいい加減な答えをして帰るわけにはまいりませんので、そういった事柄はいったん持ち帰らせていただいて、1カ月を目途に必ずお返事をする、聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしないのが松山市版のタウンミーティングの特徴でございます。今日も私と各分野の専門の担当が来ておりまして、皆さんのご意見にお答えをさせていただいたらなと思います。私、校舎内は初めて来させてもらったんですけど、新しくて羨ましいですね。僕らの時代の校舎と違うので羨ましいなと思ったりしますけども、今日は久谷中学校の生徒さんも来られております。さすがに肩ひじ張っていると90分間疲れてしまいますから、あまり緊張なさらずにぎくばらんない久谷に向けての意見交換ができればと思います。今日はどうぞよろしく願いいたします。

【男性】 恵原町に住んでおります。久谷地区の総代会長をしております。よろしくお願ひいたします。現在の久谷大橋の交通状況は、朝の時間帯は西林寺から大橋町の交差点まで渋滞になっております。その原因は何かといいますと、右折レーンが短い。これは5年ほど前に県にも言っておるんですけれども、右折レーンについての進捗はないので、久谷大橋の交通混雑の解消のために右折レーンの設置を願ひたいと思います。それからもう1つは運動公園のニンジニアスタジアムですけれども、整備されて愛媛FCやそのほかのサッカーがあったり、運動イベント関係が盛んに行われております。したがって久谷大橋から古市橋のところの右折レーンですが、これもやはり短い。右折レーンがないために後ろが数珠つなぎになるので、東方の古市橋の交差点の右折レーンも願ひしたい。それができなければ時差式の信号機をつけていただきたいと思っております。それから広瀬の端の久谷森松停車場線に入る右折のところですが、高井から入ってくると久谷地区に入るところには信号機が一方だけで右折のときの信号がございませぬ。したがって右折をつけてくれと南警察署にも申し出をしたんですけども、2秒だけ長くするからということですが、待っているとすでに赤でも右に曲がらなくてはならない。赤になっても直進で進んでくる人がおりますから、右折で待っていると特に女の人のドライバーは回り切れぬ。そうすると右折レーンはいつも3～4台くらいは待つことになるので、これは右折レーンの信号をつけていただけたらと。南警察署で聞くとあそこに右折の信号をつけると150万か200万くらい要るそうです。電信柱の中については地元で見てもらわぬといけぬ話もありまして、口は出すけどなかなか金は出さぬことにはなりますので、ここについても善処方、関係当局に市から申し出ていただきたい。1つだけでも交通渋滞にならないように、また交通事故にならない施策を組んでいただければ幸いかと思ひます。ひとつよろしくお願ひいたします。

【市長】 はい、このことについては都市政策課長からお答えをいたします。まず大橋橋の交差点です。

【都市政策課長】 都市政策課長川口です。よろしくお願ひいたします。ご意見ありがとうございます。いただいたご意見は事前に愛媛県と警察に意見照会をさせていただいております。愛媛県からは「朝夕の通勤通学および帰宅時間帯において渋滞が発生していることは認識しております。この時間帯は交通量が非常に多く、ご要望のあった交差点の改良だけでは抜本的な改善にならないことから、周辺道路全体の交通状況を調査してまいりたいと考えております。」との回答をいただいております。また松山南警察署にもお伺ひしております。「再三、県とも協議を行っているところ

でありますけれども、渋滞の抜本的な解決方法は、車線を増やすなどの工事が必要であります。が、予算的にも厳しくて現在では交通量を定期的に調べて信号のパターンを変更して対応している。」との回答をいただいております。

【市長】 今度は古市橋交差点の現状にいきましょう。

【都市政策課長】 古市橋交差点についても県に問い合わせしておりますけれども、県の回答は先ほどと同じような回答をいただいております。また、松山南警察署からは「通常の車の交通量とかこれまでの事故の発生状況等から時差式信号の運用は現在のところ考えていません。」という回答をいただきました。信号機のような交通規制を伴う変更については、町内会とか地域の皆さんのご意見として警察にご相談していただく必要がありますので、まずは地域の皆さんで状況を共有していただいて、意見がまとまりましたら松山市からも一緒にご提案をさせていただいたらと思っております。

【市長】 とともに県道であるので県とまた所管の松山南警察署の対応状況をお知らせしたところですか。3つ目の場所はわかりますか。

【都市政策課長】 これについても松山南警察署に問い合わせはしたんですけれども、「申請はいただいておりますけれども、色んな条件から今検討中です。」という回答をいただいております。具体的にどうしてかはお伺いできなかつたんですけれども、そういう状況でございます。

【市長】 どのあたりですか。

【男性】 四国生コンのところから久谷森松停車場へ入る広瀬の三叉路。

【市長】 松山市道の市が所有している道路だと違うところもあるのかもしれないけれども、県道であるので県の対応状況はそういうところですか。

【中学生】 荏原城址の周辺には電灯がなく暗くなると危ないので、電灯をつけていただくことはできませんか。

【市民部長】 市民部長の片山と申します。よろしく申し上げます。ご質問ありがとうございます。街灯が少ないということで、まず一般論を先に言わせてください。国道や県道であれば国や県、また市道であれば市というように、道路の管理者がまず道路灯の設置を検討します。そして道路灯の設置基準に満たない場合には、地域で防犯灯を設置するという方法があります。今回のところは道路管理課に確認いたしますと、道路灯の基準に合わない。道路の照明灯の設置は難しいという意見を聞いていますので、これは地域で防犯灯を設置する方法がいいのかなと思います。松山市では松山市防犯協会がありまして、そこを通じて防犯灯を新設する場合に設置助成を行っています。維持管理や電気料金の支払いは町内会等が行っ

ておりまして、したがって防犯灯の所有者は町内会になります。そして電柱とかに設置するのが原則となっております、仮に防犯灯のポールを立てるという場合でも私有地への設置を原則としておりまして、それに伴う工事費用は町内会の負担になります。防犯灯を設置するための手続きですけど、町内会等の代表者からの申請になりますので、まずご家族にお話していただいて、町内会の方を教えてください、町内会長等にご相談をお願いしていただきたいと思います。そして町内会長さんや町内会の役員の方から支所とか市役所の市民参画まちづくり課へお話をいただくという手続きになります。

【市長】 街灯は道路を買収するような必要がないので比較的できやすいと思います。ただ、農業地帯で農家の方に聞いたことがあるのは、田んぼはずっと電灯がついていると稲の生育には影響があるんだそうです。場所によっては街灯をつけてもらったら困るところがあるかもしれないんですけど、どれぐらいの間隔でつけるかを考えていくと、できることもあると思いますので、遠慮なく言ってもらったらと思います。

【男性】 平成21年からお願いしていることですが、一向にはっきりした返答をいただいていないので、ここでもういっぺんお願いしたらと思います。

山に谷がありまして、山のほとんど頂上付近まで今から40年ぐらい前に道路がついたんです。なんでついたかといったら、あそこはみかん山になったんです。今はみかん山が1つもなくなったものですから、農道ではないんです。どこへ頼んだらいいのかといったら、「それは農道じゃないから」「林道じゃないか」と色んなことを言われました。このことについては平成21年10月8日の「東方町南谷上流部道路整備について」という私の文書があります。これは松山市長宛てに出したのではないんです。これはこの土地改良区の総代さん宛てに出したんです。総代さんから市へ言ってくれたと思います。それでほんのちょっとだけ下のほうはブルドーザーで補修してくれたんですが、それが3年ほど前。そのままで今もちゃんとしたことはできておりません。山道をブルドーザーでつけただけですから、頻繁に補修しないと道が悪くなってしまふ。平成6年に100年確率の大洪水がありましたが一番ひどかったと思うんです。それ以前までは通れていたと思うんですが、それ以後はまったく通れない。全く通れないというのは歩くこともできないひどさです。それでいろいろお願いしたら、行ってみるからと言われた方もおられたので、期待しておりましたら、行ってみたら入れないと言うわけです。測量する人とか地質調査している人はそういうところへ入って最初に見るんです。お願いしても歩く

道がないから行けなかったと、21年から5年間ほど放ったらかされている。これについて検討をお願いいたします。

【都市ブランド戦略課長】 産業経済部の都市ブランド戦略課長の矢野でございます。ご質問ありがとうございます。農林土木課にもお話をいただいているようですけれども、一般的には森林に入っていく、車両が通行する比較的広めの林道などは農林土木課で施工をすることがあります。小さな道であるとか車が入れないような道については、森林組合とか改良区で対応していただく場合が通常ございます。それから30万円以下くらいの工事で済む場合は原材料をお渡しして、地元で作業をしていただく場合があります。それから個人の土地の中の林内作業道といった場合には、また別の材料などを交付して農林水産課が担当になりますけれども対応させていただく場合があります。いずれにしても今のは一般論でございますので、持ち帰らせていただいて担当課に責任を持ってつなげていただきまして、場所の確認、そしてどういった対応ができるか検討させていただきたいと思っておりますのでご理解をいただきたいと思っております。

【中学生】 夏になって窓を開けたら教室に虫が入ってくるので、網戸をつけてほしいです。

【生涯学習政策課長】 ご質問ありがとうございます。教育委員会の生涯学習政策課の津田と申します。事前にこのお話をいただいておりますので、先ほど校長先生に案内をしていただきまして現状を見させていただきました。確かにこのあたりは田んぼに囲まれておりますので、これからたくさん出る時期になります。ただ、網戸をつけることは工事上の大きな問題はないですけれども、つけることによって想定されますのが風が抜けにくくなって、涼しさが比べると少なくなるときがあります。例えば扇風機の配置等も考えるとか、色んな方法があると思っておりますので検討させていただければと思います。網戸をつけると温度が上がるかもしれないことだけ皆さんには理解してもらわないといけないと思っておりますので、よろしく願いします。

【中学生】 我が久谷中学校は1～2年生が1クラスに40人ぐらいが授業を受けているのですが、人が多くて暑苦しいです。扇風機が2台という少なさの中で端っこや真ん中がとても暑くて授業に集中できていない人がいるので、そこのところをお願いします。

【生涯学習政策課長】 学校のクラスの考え方ですけれども、愛媛県教育委員会が最終的に決めているのですけれども、中学校の場合でしたら40人学級というのが決まっています。今、中学1年生がちょうど40人、40人の80人で、2年生が80人をちょっと切っていると思っております。2

クラスずつだと思うんですけども、仮に1年生が1人～2人の生徒さんが増えれば来年3クラスになるかもしれない。そうすると全体的に1人あたりの面積が広くなると思います。それがクラスの考え方でございます。これはなぜかといいますと、クラスが増えますと担任の先生がつかないといけないんですけども、先生の採用の計画を持っておりますのが松山市教育委員会ではなくて愛媛県教育委員会になりますので、我々の要望どおりできない。小学生の低学年になると35人、今4年生ぐらいまでは35人学級を進めております。そういうことをご理解ください。実際の部屋の広さも校長先生に見せてもらったんですが、確かに机が教壇から1メートルもないですね。後ろもおそらく通れないぐらいですね。これも事前に質問をいただいておりますと担当課が調べましたが、国が示す基準的な範囲には入っているそうです。先生にお伺いすると扇風機を使うときは廊下から中に風を吹き入れているとか、工夫をしているお話も聞いており、現実的に工夫されて使っている様子も目にしておりますので、何かものを減すことができないか、それとも据え置き扇風機でなくて天吊りの扇風機にできないかとかを考えさせていただければと思いますので、ご理解ください。

【市長】 タウンミーティングは1巡目の41地区が全部終わって2巡目に入っていて、今日のタウンミーティングで30地区目だと思います。合計70地区ぐらいタウンミーティングに行っているんですけども、必ず出た問題点については現場に行かせていただいております。それはお約束いたしますので、現場に行かせていただいて、どういう対応をとらせていただくのかを1カ月後を目途にお返しをさせていただく意見対応表にはこういう現状でした、こういう対応をさせていただくというのを記載しておりますので、ご安心をしていただけたらと思います。聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしないのが松山版のタウンミーティングの特徴でございますので、ご安心をいただけたらと思います。今日2時半には終了いたしますけれども、すぐに帰るわけではございません。地図も持ってきておまして、例えばここところがちょっと危ない気がするとか、危険だと感じる事、道路の事等ありましたら、都市政策課の川口課長に伝えていただけたら、今日の帰りにその場所を見させていただいて、そして対応を考えるようにいたしますので、終わりましたら遠慮なく言っていただけたらと思います。よろしく願いいたします。

【男性】 お世話になっております。今日は道路の事でお聞きしたかったんですが、この前の提案事項の中にも少し書いておったんですが、久万町からトンネルが抜けてお寺参りの車が浄瑠璃町へ塩ヶ森のところから

降りてくるんです。ところが県外ナンバーの方ですから塩ヶ森の入口には割と広い車でも入れるような感じの看板もあったりして流れこんでくる。トンネルができてだんだんと増えてきておるんです。それで入口がスムーズに通れるという誤解を与えるような看板も立っておりまして、大きい車も流れこんでくる。ところが途中で狭くなったりして、この道は急勾配の坂道で悪路の代表的なものです。それで下り優先だから下から上がってくる車は軽四だろうがちょっとのいてくれというような、地元の者だったらよける場所もわかっているんですが、県外者の人は何も知らずにどんどん下りてくる。今やいたるところで渋滞もあり、道路の横で擦るような軽微な事故もかなりあるんです。この道はもともと市道ですから改修計画は何かございませば、この場でお伺いしたらと思います。

【市長】 はい、わかりました。まず改修計画があるのか、ないのかについてはどうでしょうか。

【都市政策課長】 都市政策課です。よろしく申し上げます。ご意見ありがとうございます。実は改修計画はありません。先ほどご説明いただきましたように、この路線は延長が2,700メートルあります大変な急勾配で、なおかつ6割以上が幅員が4メートルない部分もありまして、以前には観光バスが迷い込んで立ち往生したお話も聞いております。もともとこの場所は昭和9年ぐらいから歩き遍路の遍路道として広く使われた道だとお伺いしておりますので、そういうこともあって改修の計画はございませんし、改修するためにはかなり山道ですので費用もかかります。現在の状況では大変難しいと考えております。

【市長】 私から補足を。この道はよく覚えております。通ったことがあります。前の仕事で各地区を訪ね歩く番組をさせていただいて、私が退職をさせていただいたのが平成22年の10月でしたが、平成22年の4月の桜の咲くころの「もぎたてテレビ」で久谷をやらせていただいたのが私で、あのころはアナウンサーもしながらディレクターもしなさいということで、事前の取材もやらせていただいたので久谷を隈なく歩かせていただいたので、どこからどういう風景が撮れるかをやらせていただいたので、この道もよく覚えています。ここは確かに県外ナンバーの方が入ってこられると大変です。地元の方も大変だと思います。ここは市道で私どもが持っている道路ですので、いろいろとできることがあると思います。例えば小さい看板に書くと車でくるわけですから見にくいと思いますので、何らかの表示をする「ここは狭いです」とわからせる方法はあると思いますので、早速考えたいと思います。歩くお遍路さんはこの道を通っていただくのは里道を下りて集落に下りていく形で雰囲気があっていいと思います

が、どちらかというとは車には適さない道だと思いますので、表示をすれば何らかの方法は考えられると思いますので、そのようにさせていただいたらいと思います。困らないようにおもてなしの心で表示ができる形を考えたいと思います。ありがとうございました。

【男性】 荏原公民館長でございます。この地域には社会福祉施設や老人ホーム、要介護施設、障害者施設とか非常にたくさん施設があります。そういう皆さん方が公民館活動等で非常に活発な活動をしていただいております。そして24年に耐震改修工事で久谷支所と荏原公民館と一緒に改修をしまして、3階の図書室がなくなって2階建てになりました。そして先々でエレベーターをつけれるようにということで準備もしていただいております。そういう中で高齢者の方々とか施設の方々が公民館に気軽にきて、いろいろと活動をしていただくためにエレベーターの設置をぜひお願いしたらと思いますので、よろしく願いいたします。

【生涯学習政策課長】 教育委員会の津田でございます。ご質問ありがとうございます。今、お話がありましたとおり、先般の改修の際にエレベーターの設置できるスペースを整えていると思います。公民館は市内に41ほどあるんですが、3階建て以上の本館は14ぐらいあります。そうした中でスペースの問題もあるんですが、3階建ての建物を最優先でエレベーターをつけているところでありまして、現在5つほどついている公民館があります。今のところ3階建てのところでは要望をいただいてスペース的にも可能のところも今年度ありますので、順番でいきますとそういうところがある程度終わってから荏原公民館になるんですが、荏原公民館の場合は場所も確保できておりますので、2階建ての順番がきたときには最初の設置ができようかと思っておりますので、そういう計画をまた学習施設課から連絡をさせますので、よろしくご理解いただければと思います。ありがとうございました。

【市長】 私から予算的なことについてお話をさせていただいたらと思います。市長の立場をいただいて松山市の財政を俯瞰的なところから見させていただき、北海道の夕張市が財政破たんをしたのは有名なところですが、じゃあ松山市はたちまち財政破たんをするのかといいますと、そういうことはありません。中四国の中でも健全財政を維持できていると思っています。ただ、国自体が1千兆円の借金を抱えているのは皆さんも報道やニュースなどで耳にされていると思います。国から地方へは地方交付税交付金とか国庫支出金というかたちで地方にお金が回ってくるんです。仕送りと同じです。大学に行くとして親元が苦しいとなっていたら仕送りが増えるとはとても考えにくいですね。親元の財政がしんどいとなった

ら地方に回ってくるお金がこれから増えるとはとても考えにくいです。決まったお財布の中でやっていけないといけないんですけれども、一方、少子高齢化があって私もいずれ高齢化していきますけれども、高齢化していくと、どちらかというとお世話になるほうが多くなるわけです。少子の子どもほうはというと、子どもの数は少ない、働いて税金を納めてくれる方が少なくなることを意味します。皆さんそうだと思いますが、「私は税金を払いたくてたまらない」という人はまずいないと思います。でも、我々とするとなさんの税金をいただかないとなかなか事業ができない。例えばごみ収集があります。ごみを出していただきますが、ごみを収集する人が要ります。ごみが少なかったらごみを収集する人の数が少なくて済みます。ごみが少なかったらごみを集める車も少なくて済みます。ごみは一般的に燃やしますが、ごみ焼却施設は建てる時に何十億円もかかりますけれども、ごみが少なかったら長持ちするんです。いわゆる義務的な経費といいますが、どうしても払わないといけない経費をできるだけ少なくして、決まったお財布の中ですから教育とか福祉の政策的な経費を増やしていきたい。皆さんに胸を張っていただきたいのは、松山市はごみが少ないんです。全国最少です。7年連続で記録しているのが松山市です。これは皆さんのご協力のおかげで成り立っています。そうすることによって、ごみにかかわる経費を減らすことができ、教育や福祉にかかわる経費を増やすことができるんです。今、皆さんのご協力でいい取り組みができていますので、皆さんと一緒にいい松山をつくっていったらなと思っています。掻い摘んで言いましたけれども、1日1人あたりのごみの排出量というデータがありまして、5千人の町と50万人の都市を単純比較ができませんから50万人以上の都市の中でというくくりになるんですけれども、松山市は人口が52万人で、50万人以上の都市の中で松山市は全国で1番ごみの排出量が少ない。しかも1年だけでなく7年も続けてごみ最少を記録しているのが松山市です。義務的経費を減らして政策的な経費に充てることのできています。これは皆さんのご協力のおかげです。お願いがあるのですが、今2位が迫ってきました。データでいうと1円玉2枚分の差しかありません。やっぱり日本で2番や3番になるとちょっとガクッとされると思いますので、これを維持していきたいと思います。どうやって維持をするのかといいますと、ごみを出すときにちょっと水切りをしていただだけでもごみを減らすことができるんです。いずれ燃やしますから水切りをよくしていただいたほうが燃焼効率も上がります。また、リサイクルできるものはリサイクルに回していただくと量が減ります。ですので、皆さんにはごみの排出量が少ない日本一を目指していきたいと思います

ので、皆様のご協力でまた維持することができると思いますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

【男性】 坂本地区で久谷町の総代をやらせてもらっています。実は坂本小学校ですが、体育館の屋根の色が以前は完璧なブルーでした。そしてこれは学校から教育委員会にはおそらく連絡がいつていると思います。それが未だに見にも来てくれない。防災士の方にもお会いし、坂本小学校体育館は緊急避難指定場所になっていますからその方も懸念していました。これからまた台風もあります。もし雨漏りし出したときには緊急な工事もできない。大変な莫大な費用になると思います。1度見に来ていただいて、早急な対応をお願いいたします。

【市長】 今おっしゃられた色がブルーでなくなっている。かなり屋根が老朽化してきているのではないかということですかね。これは教育委員会学習施設課の担当になりますね。

【生涯学習政策課長】 すみません、私のところにその話がまだ担当から来ておりませんでしたので、早速その状況を確認して、改修の必要性があるかどうか担当課が調べている可能性もありますので、大至急持ち帰らせていただきまして、調べさせますのでよろしくご理解ください。お願いします。

【男性】 中野町の総代ですが、中野町には施設等がかなりあります。市長さんには防災関係、防災士等にかなり力を入れていただいて本当にありがたいと思います。そんな中で中野町は昭和18年、20年と水害にあつて家ともども流されました。これからそういう事態が起きないとも限らないです。荏原小学校が避難場所になっておりますけど、荏原小学校まで来れないんです。ちょうど津吉町と中野町の間に川があります。そこがまず1番に川が氾濫しますから、どちらにも行けない。それこそ久谷大橋の代わりにもう1本橋がついたらそちらに向けて避難ができると思うんですけど、逃げるところがございませぬ。中野町の避難場所は公民館になっておりますけれど、1階建てで2階がなく、お年寄りや子どもが非常に多いんです。そこで避難場所をどこにしたらいいかと前から非常に迷っております。例えば公民館の2階をつくらせていただくか、2階の屋上に避難できる状態にさせていただくとか、何か方法がないものかということなんです。よろしくお願いします。

【市長】 今日は後ろに消防の担当課長が来ておりますのでご説明をさせていただきます。

【消防局総務課長】 消防局総務課長の中矢でございます。防災に関するご質問ありがとうございます。中野町の指定避難場所が荏原公民館と荏原

小学校で、中間に川が流れているということですね、わかりました。今、地域防災計画を松山市は見直しました。その中で避難所についても見直しを図りましたので、本日、そのような川があって分断されて避難ができない可能性があるというご意見を持ち帰りまして危機管理担当部で避難場所を検討させていただいたらと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

【男性】 塩ヶ森線の保守管理は地元ですっとしないといけない形になるんですかね。

【都市政策課長】 都市政策課です。その道路は市道になっておりますので、日常管理は松山市でさせていただきます。ただ、パトロールを松山市がしていますけれども、危険な場所とか地元の方が発見された場合には連絡させていただいたら市で対応もしますし、地元で草刈りとかされている作業がありましたら、できましたら引き続きお願いできることはお願いさせていただきます。よろしくお願いします。

【男性】 私が質問したのは草が生えて、草刈りくらいは地元でしてくれというお話がありまして、草刈りはなかなか距離が長いんです。だから草刈りといってもそう簡単にできるものじゃない。それで山の木がふさがって1回は地元で木も切ったんですが、木のことでですから再生しますよね。だからそういうことをどこまで地元でもって、どこまでは市でもっていただけるのかがはっきりわからないところがありましてお尋ねしたわけです。

【都市政策課長】 基本的には松山市の管理すべき道路ですから松山市がするべきところではありますので、地元ができる範囲でよろしいと思います。危険なところまでしていただく必要はないと思いますのでよろしくお願いします。

【男性】 鳥獣被害というか、イノシシの被害が私が住んでいる浄瑠璃町のあたりもかなり多いんですが、昨日の新聞でイノシシの肉を食べたら変なことになるという話が出ておりましたから、イノシシの肉をどうにかする道がある意味ではふさがれているのではなかろうかなと。それで鳥獣被害の対策費を市はどのくらいとっているのかをお尋ねしたい。それと、どういう交付金とか助成金が支払われて対策されているのかも含めてお尋ねしたいと思います。よろしくお願いします。

【市長】 私からお答えさせていただいたらと思います。大きくさまざまな課題があるんですが、農業については我々も有害鳥獣対策と耕作放棄地対策を何とかしたいと思っております。有害鳥獣対策は平たく言うとイノシシとか猿とか鹿ですけれども、もともと私が就任したときは農林水産課

で対応していたんですが、やっぱり責任体制を明確にしようということで有害鳥獣対策課長をつくりまして、本当はできるだけ市役所の仕事を皆さんにわかりやすいようにしようと思ったんで、イノシシ課長という名前にしようかと思ったら、それちょっとわかりやすすぎるというので、有害鳥獣対策課長ということでさせていただいたんですが、責任体制を明確にしてやる。平成22年度はイノシシの捕獲頭数は250頭くらい、つまりそれ掛ける報償費2万円ですから500万円くらいイノシシの捕獲に対しては報償費として出していた。猿はだいたい年間2〜30頭だったと思いますので、それ掛ける3万円で90万円くらい。それが今はイノシシは1,000頭を超えている。ですから1,000掛ける2万円で2千万円はすでに超えている。猿はそんなに数は変わっていません。お金がないからもうできませんじゃなくて、これは皆さんお困りだと思います。例えば紅まどんとか青いときはイノシシも食べないんですね。でも本当においしいぞとなったらイノシシは立ち上がって食べますから、本当にお困りだろうと思ってできる限り予算は確保してやっているところでございます。愛媛大学の農学部があるので、農学部とも連携させていただいてやるとか、新たな取り組みであるモンキードック、猿が集落に下りてくる前に犬で追い払っていこうという新たな仕組みも導入しておりますので、キーワードはできる限りやれることをやるということでやらせていただいているところでございます。ご理解をいただいたらと思います。私が予算のことを申し上げましたので、皆さんの手が鈍るといけないなと思いながら言っていたんですが、タウンミーティングに行きますと皆さんから、「市長これやってよ、あれやってよ」と言われます。私も人間ですから、「わかりました、それしましょう。わかりました、これもやりましょう。あれもやりましょう。」と言ったほうが市長の人気取りから考えるといいのかもかもしれません。でも、特に施設整備などでは、施設整備をしてしまうと行政が途中で調子悪くなったからやめますということができないんです。これは民間と公の違うところです。そして何か建ててしまうと維持管理、補修は誰がやっていくのかというと、我々の世代じゃなくて後の世代、将来の子どもや孫が補修、維持管理をしていかないといけない。ですので、何でもつくれる時代ではなくなったというのが正直なところです。昔の高度経済成長の時代だったら日本も人口が増えて財政もよくなっていくだろう、税収も上がっていくだろうという中で、どんどん郊外に広い道路を伸ばしていく、下水道をどんどん伸ばしていくことができたと思うんですが、今はもうそういう時代ではなくなってしまいました。でも、お金がないから何もできませんじゃなくて、知恵と工夫でできることがあるんです。皆さんの声

の集まりが行政ですから、皆さんの声をちゃんと聞いておかないとやることを間違ってしまう。間違えないように皆さんの声をしっかりと聞かせていただいて、まずは今何をすべきなのか申しわけないですけど優先順位をつけさせていただいております。ですので、皆さんから声をいただくほうがいいので、知恵と工夫でやれることがあるので、皆さんの意見はどんどんと言っていただけだと思います。よろしくお願いします。

【男性】 先ほど中学生から荏原城址の横の防犯灯の話がありました。家が2軒ほど建っておるんですけども、電信柱がその向こうにありますので、ちょうど池の傍が電柱ございませぬ。私も防犯協会の久谷支部長もしているので、この前の会議の中ではそういう民家が離れたところの通学については市が電気代を負担して建設するとお聞きしているのですが、それはどんなでしょうか。

【市民部長】 特設防犯灯のことだと思いますけれど、これは今おっしゃられたように市が設置して市が維持管理する。それについては具体的な場所を見て基準に合うかどうか判断させていただきたいと思います。お願いします。

【市長】 できれば帰りにでも見て帰れたらと思っています。生徒さんのことですからできるだけ大人たちができることやしていきたいと思いません。お願いします。

【男性】 冒頭に話があった久谷大橋の混雑の件ですけど、県道の関係もあり県の対応となっていますが、県の判断が全てではないと思うので、直接県には言いにくいから市に言わせていただきますので、先ほどの久谷大橋の交差点は当然4車線はできないでしょうけれど、右折ラインが考えられます。右折もゼロからじゃなくて、今、数台は並ぶ右折ラインはあるわけです。それを延長する考え方で、そうなるとう地の買収とかいろいろな問題も絡んでくるので、地元から用地を提供するとかは簡単には出ないものですから、県から事業計画の策定をしてもらって、それで地元を下ろす進め方でいかないと、県の意向で前に向いてなかなか進みにくいのかなと懸念されます。久谷大橋の交差点は松山から入ってくる久谷地区の入り口でもありますし、県道23号線の伊予川内線はバイパス的なところがありまして非常に交通量が多い。全市内を見た中で、この混雑は非常に大きいと私らは見えるものですから、より具体的に仮定で検討するならどういうことができるかまで検討した上で県とも相談していただきたいとお願いしたいと思います。

【都市政策課長】 先ほど市長からもお話がありましたように、市道でありましたらすぐにこうやりますとお話ができるんですけども、県ですの

でなかなか難しいところがございますけれども、市からも要望させていただきまして、地域の方も一緒になって直接生の声を県とか警察にも言っていただきまして、実現できるようにしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【市長】 「それは県の案件なので県に言ってください」とか、「国の案件なので国に言ってください」ではなくて、皆さんどこが国道でどこが県道でどこが市道とわからないところもありますので、私どもは皆さんの意見を伺って必ず県とか国に伝えていきます。安心していただけたらと思います。逆にタウンミーティングやり出して野志市長が面倒なことやり出したなど県や国から思われているかもしれません。返事をくれないことには我々は市民の皆さんに説明ができませんと言っていますので、必ず県や国から回答をいただいて皆様に提示していますので、ある意味県や国から面倒なことやり出したなど思われているかもしれませんが、やっぱり我々は市民の皆さんと一番近い行政体ですから身近なことを大事にしたいと思っております。必ず県や国に伝えておりますので安心していただけたらと思います。最終的には県道ですから県のお金を使ってやることになってしまうので、県が判断をする形にはなるんですが、例えばご協力をお願いするとしたら周辺住民の方に署名をお願いして、署名を相当数出して「我々の声は切実なんですよ、愛媛県さんよろしくお願します。」国だったら「国さんよろしくお願します」という形も考えられるかと思っております。決して皆さんの声を疎かにするのじゃなくて大事にしていきたいと思っておりますので、ご理解いただけたらと思います。

【男性】 久谷中3年です。久谷地区には池がたくさんあるんですけど、その池で柵がないところもたくさんあって、3年ぐらい前に坂本小学校の子どもが池に落ちる事故もあったので、柵を立てて事故をなくすようにしてもらいたいです。

【都市ブランド戦略課長】 はい、ご質問ありがとうございました。都市ブランド戦略課です。おっしゃるように不幸な事故がございまして、注意を喚起する立て看板とか、危険表示の赤旗を松山市が作成して、各ため池の管理者に配付をさせていただいています。それから現地へ設置をしておりますし、安全柵についても地元改良区の皆さんやため池の管理をしていただいている方と協議をして設置をしているところです。今月現在で久谷地区では津吉町の2カ所のため池、天神池と原池で工事をしておりまして、26年度中の完成を目指して整備をするようにしています。そのほか「広報まつやま」で毎年ため池や水路での事件について注意をしてくださいというお知らせもしておりますので、今後もそういった形で取り組ませていた

だきたいと思います。

【市長】 子どもさんにもわかりやすく、ため池は誰が管理しているのかをお伝えしてもらっていいですか。

【都市ブランド戦略課長】 土地改良区という農業を主にされている大人の方が協議会のようなものをつくって、そこに属している方に管理をお願いしています。地元の農業をしている方の中で管理をいただいている方が必ずいらっしゃいますので、何か質問があったらそういう人に聞いていただいてもいいし、あるいは市の農林土木課にお電話いただいてもお答えができると思います。

【市長】 確かに地元の方々が管理されている形ですけれども、だからといって松山の子どもたちが命を落とすことがあってはいけないので、安全面にはできる限りのことをさせていただこうと思っています。フェンスをしてしまうと例えば周辺の草刈りの作業がしにくくなるとか、色んな作業がしにくくなることがあったと思います。その作業のしやすさの問題と子どもたちが命を落とすことのないようにいろいろにらみながらやっているところです。

【女性】 坂本小学校で放課後子ども教室のお世話をさせてもらっております。そのこともありまして、坂本幼稚園に子どもを通わせている若いお母さんが「坂本小学校に上がりたいんだけど、貸してもらえる家か売っている家はありませんか。」という問い合わせが来ます。その度に民生委員さんや総代さんにお尋ねするんですけども、古いお家はそこに住まわっていたおばあちゃんが町なかの子どもさんに引き取られて、おばあちゃんの家財道具が全部残ったまま放られているので、なかなか貸せることにはならないというお話をたびたび聞きます。町なかに住んでいる子どもさんとしては親御さんのお世話が精一杯、ご自分の生活が精一杯、なので親が残してきた家財道具を片付けるところまでは手が回らないんです。でも、坂本小に上がりたいと思ってくれている若いお母さんは、家があったらぜひ住みたいとおっしゃってくれているので、そういったところを助けていただける施策があったらと思います。今回、回答でいただいている3ページの7番、空き家対策の問題のところですが、そういう空き家がごみ溜めになって困っているというんじゃないんです。あそこまだ住めるのもったいない、若い人に住んでもらったらいいねと。でもそのためにはちょっと年寄りではなかなかできないので、何か市が助けてくれたらなという問い合わせを前回したのだと思うんです。ですから、空き家に関する情報を集約する窓口の一元化と書かれると何か頼もしいようなちょっと遠いような。こういうお家があるんだけど、貸してあげたいと思うんだ

けれども、何とかする手助けがもらえないだろうかという問い合わせる窓口を市に設けていただくと、例えば具体的に業者を頼むといくらぐらいですよとか、そういった具体的な手助けをしていただける窓口にしていただけたらうれしいなと思います。以上です。

【市民部長】 市民部長の片山と申します。ご質問ありがとうございます。空き家の件ですけれど、一般論から先に言わせていただくと、通常は不動産屋にお尋ねすることになると思いますけれど、手元にある情報ですけど、愛媛県への移住を希望する方の情報は持っているんです。これは財団法人愛媛地域政策研究センターの中に愛媛ふるさと暮らし応援センターがあります。こちらでは愛媛空き家情報バンクを立ち上げて、移住者の方に向けてホームページで情報提供を行っているとお聞きしております。こういう情報はあるんですけど、今おっしゃられたのとちょっと違うかなと思います。これについてはまた調査してみたいと思います。できること、できないこといろいろあるかと思っておりますけれど、研究させてください。お願いします。

【市長】 我々も特に島、興居島や中島での空き家をどう有効活用するかを、就任させていただいてからいろいろと考えています。興居島とか中島は温暖な気候ですから海釣りもしたいとか、のんびり過ごしたい。興居島なんてフェリーで10分いけば公共交通機関がありますから、ちょっとプチ移住体験しようと思ったら興居島とか、本格的に移住してみかん栽培したいと思ったら中島とか、松山市内全域でいろいろ考えられると思うんですが、我々も空き家を上手く活用したいんです。職員が入ってもらって現状を調べるんですけど建物は住めるんです。やっぱり難しいのは、全部のケースじゃないんですけど、おじいちゃんおばあちゃんが「ここ、残しとったら息子や娘が帰ってくると思うんよ」、なかなか帰ってはこれないんですけど手放すことができない。人に貸してしまうと荒らされるんじゃないかと思ったりとか、我々も上手く活用させていただきたいんですけども、ハードルがあるのが現状です。でも色々なケースがあって、貸してもいいというところもあると思うんで、今は愛媛県を中心とした愛媛県のシステムがあるんで、そこで移住を促進していこうと考えているところなんですけれども、松山市としては人口減少に徹底的に対抗していきたいと考えています。ですので、住んでいただけることはありがたいので、この仕組みはもうちょっと考えさせていただいたらと思っております。ありがとうございました。さて、先ほどの女性の方のご意見をいただきまして最後までさせていただいたらと思うんですが、ちょっと私からお知らせをさせていただいたらと思います。荏原児童クラブは地元の方にもご協力をいただい

て、活動をしていただいておりますが、拡充をさせていただくことが決まりました。この前の議会でご承認をいただきまして、市内19カ所の児童クラブを拡充することにいたしました。今年度中に荏原小学校の敷地内へ専用の施設を新たに建設をする予定です。工事の際は学校や地元の方々と連携をしっかりとりまして、安全かつ円滑に進めていきたいと思っております。来年の4月から現在のクラブ室と新しいクラブ室の2カ所で荏原児童クラブを開設する予定です。増設によって狭さの問題が解消されて、児童の適切な生活環境を確保できると考えております。また、ご意見としていただいたのですが、コミュニティバスなど公共交通の足を何とか確保できないかというご要望をいただきました。実際にバスを運行しているのは伊予鉄道さんですが、現状からするとバス路線を増やしていくのはなかなか厳しい。だけれども何にもしないわけじゃなくて、実用があるんですが日浦や立岩といった中山間地域の住民の方、交通事業者の方、行政が地域の交通について意見交換の場を設けまして、地域の実情に即した運行ダイヤに変更するなど、経費負担とならない範囲での利便性向上策を行いました。皆様もそういうご要望をいただきましたら地域の実情にあった運行に向けて地域の住民の方々と意見交換をすることができますので、お気軽に総合交通課までご相談をいただけたらと思います。できたらお一人の意見じゃなくて、まとまっていただけると地区の総意だとよくわかりますので、できたら地区でまとまって言っていた方がいいと思います。よろしく願いいたします。今日は本当に長時間にわたりましてありがとうございます。終始思いますのは、我々は市民の皆さんの課題解決はしたいんです。さまざまなやり方がある。国が絡む案件、県と絡む案件、財政的な問題がある面というのを申し上げましたけれども、早速きちんと受け止めさせていただいて交渉が難航すると1カ月は遅れるかもしれませんが、必ずいただいたご意見に対しまして市の考えをまとめまして、1カ月を目途に返答させていただきます。それで終わりじゃなくて、またこういう意見が返ってきたけれども、「わしらこう思うんよ、私たちこう思うんですよ。」という意見交換をこれからも続けていければと思っております。私どもは市役所です。漢字3つです。市、役、所。市民の皆さんの役に立つ所で市役所でなきゃいけないと思っております。どうぞ皆様方、我々に言っていただいたら「この方法はできないんですけどもこういう方向だったらできますよ」とか、「こんなやり方あるんですよ。こんな補助金の制度あるんですよ」という情報をお伝えすることもできますので、敷居を高くなさらずに敷居を低くしていただいて、「どうせ市役所に言うたって何も変わらんわい」だと全然意見交換されないままになってしまいま

すので、遠慮なく市役所にご意見をいただければと思います。もし対応の悪い職員がおりましたら、市長へのわがまちメールという直接の制度もございます。言っていただいたら私から雷を落とすこともできます。そのようなことのないように心がけているつもりですが、遠慮なく言っていただければと思います。今日は長時間にわたりましてまことにありがとうございました。

— 了 —